

四国大学大学院人間生活科学研究科学位論文及び特定の課題についての審査基準

【修士論文】

- 1 研究テーマの適切性：
研究目的が明確で、当該分野の専門性を踏まえた適切な研究テーマが設定されていること。
- 2 研究方法の妥当性：
研究目的を達成するための研究方法が妥当であり、主体的に行われていること。
- 3 倫理的配慮：
研究に関わる倫理上の問題について考慮し、また必要な対応ができていること。
- 4 研究内容の独創性：
研究内容は客観性をもち、これまでの研究の模倣でなく独創的であること。
- 5 論旨の妥当性：
一貫した論旨展開により、明確かつ実証性を有した結論が提示されていること。

【特定の課題についての研究の成果】

- 1 特定の課題：
作品、授業実践記録、栄養や健康増進等に関する実践活動の報告、事例研究など。
- 2 対象学生：
希望した学生
ただし、特定課題研究を担当可とする教員の研究指導を受けることが前提。
- 3 成果と審査方法：
 - ・報告書の作成
修士論文と同様式とし、本文原稿を5ページ以上とする。
 - 審査及び最終試験は、学位論文審査と同じ。

※修士課程では、「修士論文」又は「特定の課題についての研究成果」が審査対象となる。